2025年

月刊 星空の散歩道 9月号

9月上旬 21時ごろ
9月下旬 20時ごろ の空
ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ

月や惑星・星座を探してみよう！

9月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座、天頂に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

＜西＞　うしかい座（アルクトゥルス）
＜天頂＞　こと座（ベガ）、はくちょう座（デネブ）、わし座（アルタイル）
＜南＞　みなみのうお座（フォーマルハウト）
＜東＞　ペガスス座、アンドロメダ座
＜北＞　北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

9月8日　皆既月食

未明、月が地球の影に全て隠されます。

1時26分	部分食始め
2時30分～3時53分	皆既食
4時56分	部分食終わり

9月21日　土星が衝

地球から見て、土星が太陽のちょうど反対側にくるので、ほぼ一晩中、土星が見られます。

9月23日　秋分

太陽が秋分点（天の赤道と黄道の交点）を通過する日。

☆月の形の変化☆

9月8日	満月	○
9月14日	下弦	◑
9月22日	新月	●
9月30日	上弦	◐

☆9月の惑星☆

土星…ほぼ一晩中
木星…明け方、南東の空
金星…明け方、東の空

＜天文コラム＞　土星の環のひみつ

土星は環を持つ惑星として知られています。環の正体は、氷や岩の粒で、塵のように小さな粒から数mに及ぶ大きなものまであるとされています。無数の細かい粒が集まり、遠くからは板のように見えるのです。

土星は赤道の直径が約12万km（地球の9.4倍）あり、環の直径は27万kmあります。ところが環の厚みは数十～数百m程しかなく、とても薄いものです。環は土星の赤道上空にあり、土星の地軸が公転面に対して傾いていることから、地球からの環の見え方が約30年の公転周期の間に変化していきます。環を斜めから眺める時ほど、環の面積が広く見え、環を真横に近い位置から眺めると、細い「串」のように見えます。

今年、地球から見る土星はまさに「串にささった団子」ように見える位置にあります。そして極めて薄い環をちょうど真横から見るタイミングがあり、環がほとんど見えない「環の消失」という珍しい現象が起こるのです。

土星（当館職員撮影）

伊丹市立こども文化科学館　発行日　2025年8月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36　TEL：(072)784-1222